

総合的な学習の時間

伊丹市立総合教育センター

所長 永嶺 香織

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われますように、3学期はあっという間に過ぎ去ってしまいます。しかし、この時期は、今年度の取り組みを総点検し、成果と課題を明らかにしながら次年度の教育計画を策定するとても大切な時期です。



ところで、皆さん方の学校では、「総合的な学習の時間」をどのように進めていますか。

「総合的な学習の時間」は教科書がなく、各学校で自校の子どもたちに「どのような資質や能力を育むのか」といった学校独自の目標を設定し、活動内容を決めることから、取り組み方しだいでは、大きな差が生じます。

言うまでもなく、総合的な学習の時間は、地域の特色や子どもの実態に応じて学習活動を展開することができるものであり、各教科との関連を図りながら探究的な学びを進めることができる絶好の機会です。地域の人材や資源を組織的・計画的にカリキュラムに取り入れることにより、地域を愛し、地域に誇りを持つ子どもが育まれます。また、教科横断的な視点での教育課程の編成や学びの過程で、実社会や実生活と関わりのあることに主体的に取り組んだり、対話を通じて考えを広げたり深めたりすることにより、主体性や自尊感情が育まれます。

先行き不透明な予測困難な時代において、子どもたちがさまざまな困難を乗り越え、よりよく生き抜いていく力を育むためには、現代的な課題や地域の課題に対し、自ら課題を設定し、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動が不可欠です。

教科との関連を図った総合的な学習の時間の充実こそが子どもたちの真の生きる力を育むことにつながるのです。

総合的な学習の時間を見直そう！

自ら学び、自ら考え問題を解決する生きる力を育むために



みなさんは、総合的な学習の時間でどのような学習を進めていますか。「教科書がない」ため、難しさを感じることもあるでしょう。しかし、**将来を予測することが困難な現代社会**において、総合的な学習の時間は、ますます重要な役割を果たすと言われていています。改めて総合的な学習の時間の「意義」を考えるとともに、今年度の実践を振り返り、来年度の実践につなげていきましょう。

見直しポイント①

「意義」を見直そう

実社会・実生活の中から見いだされた探究課題の解決に取り組むことが、これからの時代を生きる児童生徒に求められている。

総合的な学習の時間の目標（学習指導要領より）

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成。

さらに
令和4年度 全国学力・学習状況調査（小学校） 報告書より

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した児童の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

見直しポイント②

「年間指導計画」を見直そう

- ①当該児童生徒の学習経験を踏まえた内容となっていたか
- ②季節や行事など適切な活動時間になっていたか
- ③各教科等とのつながりは適切だったか
- ④人的・物的資源の活用は効果的だったか

例 今年度の年間指導計画（単元配列表）を見てみよう

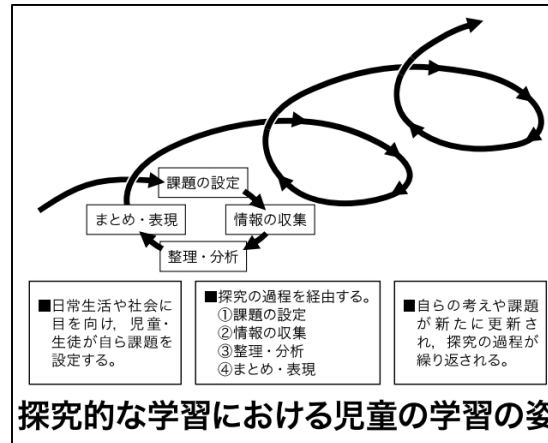
年間指導計画から、各教科とのつながりを整理しましょう。そして、「あの学習とつながっていた」「あの行事の時に合わせると教育効果が高い」という振り返りを記録しておきましょう。

見直しポイント③

「学習活動」を見直そう

探究のプロセス

- | | |
|---------|-----------------------------|
| ①課題の設定 | 体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ |
| ②情報の収集 | 必要な情報を取り出したり収集したりする |
| ③整理・分析 | 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する |
| ④まとめ・表現 | 気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する |



総合的な学習の時間では、主体的な学びとするために、児童生徒が実社会や実生活に向き合う中で、自ら課題意識をもつことが必要です。しかし、じっと待っていても課題意識をもたせることはできません。教師が意図的な働きかけをすることが重要です。

例① 体験活動から課題を設定する

「校区の西側と東側の探検」など、比べて考えるような体験活動を位置付けることで、「どうして違うのか」などの問題に気付くようになります。

例② 資料を比較して課題を設定する

二つの資料を提示し、比較することで児童生徒から疑問が生まれやすくなります。

※他にも、「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」に事例が載っていますので参考にしてください。

前年度の振り返りをもとに、学校教育目標や各教科とのつながりを確認しましょう。そして、それをもとに、改めて目の前の児童生徒の実態に照らし合わせて、単元づくりをしましょう。
それが「学校の特色を生かした総合的な学習の時間」の取組につながります。

新刊入荷!



授業力向上（カリキュラム）支援センターに新刊が入りました。閲覧できますので、是非活用ください。

『文・理を融合してリーダーを育てる「STEAM教育」』

川村 一彦【著】

STEAM教育って何？

- S**cience（科学）
- T**echnology（技術）
- E**ngineering（工学・ものづくり）
- A**rt（芸術・リベラルアーツ）
- M**athematics（数学）

各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための**教科横断的な教育**です。高等学校における教科等横断的な学習の中で重点的に取り組むべきものとされていますが、その土台として**幼児期からのものづくり体験や科学的な体験の充実、小学校、中学校での各教科等や総合的な学習の時間における教科等横断的な学習や探究的な学習、プログラミング教育**などの充実に努めることも重要であるとされています。興味のある方は是非！

情報について学びたい！

- ◎ 『情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術』
堀田 龍也/ 佐藤 和紀【編著】
- ◎ 『グローバル化、デジタル化で教育、社会は変わる』
ホーン川嶋瑤子【編著】

総合の評価について学びたい！

- ◎ 『生活・総合 資質・能力の育成と学習評価』
田村 学【編著】 柴胡の会【著】

夏季研修の学びをもっと深めたい！

- ◎ 『ICT&1人1台端末を活用した言語活動パーフェクトガイド』
水戸部 修治【編著】
- ◎ 『落語流 教えない授業のつくりかた』 立川 談慶/ 玉置 崇【著】
- ◎ 『LGBTQをはじめとするセクシュアルマイノリティ授業』
日高 庸晴【著】
- ◎ 『「動き」のある道徳科授業のつくり方』 磯部一雄/ 杉中康平【著】

小学校版、中学校版があります

発行 伊丹市立総合教育センター
所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番
TEL 072-780-2480
FAX 072-780-2482
開館日 月・火・木・金 : 9:00~21:00
水・土 : 9:00~17:00
休館日 日曜・祝日、年末・年始
総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>

<教育相談>
電話 072-772-6171 (電話相談)
072-780-2484 (来所相談)
お子様に関する様々な悩みや課題、
問題等の相談に応じています。
(来所・電話相談)
月・火・木・金 : 9:00~18:00
水・土 : 9:00~17:00

こまったことがあったらすぐ相談
兵庫県教育委員会
ひょうごっ子SNS悩み相談
LINEを使って利用できます

